



# ひめさゆり

山形市立高瀬小学校  
学校だより No.2  
令和7年5月26日  
校長 菱川 若葉

## 全力で駆け抜けた 短距離走記録会

今年度から、運動会と短距離走記録会を分けて実施することにしました。それは、最近の暑さ対策（暑い中での長時間の屋外活動を避ける）もありますが、組の団結やチームワークに重きを置く団体競技と自分の記録更新にチャレンジする個人競技を区別し、子ども達がそれぞれに集中して取り組めるようにするためです。



4月中頃から、それぞれの学年で短距離走の学習が始まりました。初めに1本記録をとり、それを基に今年目標をたてた子ども達は、自己ベストを目指して練習を始めました。体育の授業はもちろんですが、休み時間や放課後、お家に帰ってからも走りの練習を頑張った子がいたと聞きました。また、速く走るために走り方を本やパソコンで調べた子もいたそうです。それぞれの子が、自分なりの方法で準備をし、短距離走記録会を迎えたのだと思います。もちろん、練習の成果を発揮する当日の結果は大切ですが、それ以上に、子ども達の成長には、そこに向かっていく過程が重要だと思います。



私が学校で見つけた子ども達の「素敵」を2つ紹介します。

1つ目は、教室や廊下に貼ってある「目標カード」です。このカードを見ると、その子の頑張りが想像できます。いつもより大きく記録を書いている子（いい走りができたのだろうな）、目標タイムを何回も書き換えている子（自分の記録にこだわりをもって取り組んでいるのだろうな）、計測した記録の横に×を書いている子（納得していないのかな 悔しい思いをしているのかな）など、子ども達の心の声が聞こえてくるようです。子ども達は少しでも自分の記録をよくしたいと頑張っているのですから、記録をとる度に一喜一憂するのは当たり前です。そういう様々な思いをし、克服しようと頑張ることで、その子の心の芯はしなやかになっていくのだと思います。

2つ目は、授業中にグラウンドから聞こえてくる「高学年の声」です。最初は「がんばれ！」という励ましの声しか聞こえてきませんでした。しかし、学習が進むにつれて「腕をふって」「前をむいて！」「足あげて！」「歩幅大きく」という具体的なアドバイスの声も加わってくるようになりました。声かけが変わったということは、見方が変わったということです。なんとなくぼんやり見ていた友達の走りが、具体的に見え始めている証拠です。「やはり高学年だな」と感心しました。



記録会当日には、子ども達のキラキラ輝く姿をたくさん見ることができました。この一人一人のチャレンジが、次の活動につながっていくように学校でも励まし見守っていきます。

## 125周年の重み 創立記念式

5月10日は125回目の創立記念日でした。残念ながら当日は土曜日だったので、8日に来賓の方をお招きして記念式を行いました。

式辞では、125年の間に校名が4回変更になったこと、校歌は95年前に作られ歌い継がれていること、校章や校舎、体育館も長く大切に使い続けていること、そして、目には見えないけれど、高瀬小学校には皆さんを大切にしてくださる地域の方々の思いがたくさん詰まっていることなどを話しました。

特に創立記念日には、子ども達に、自分の今があるのは、多くの先輩達が築いてきてくれた基盤があるからだということを感じとってほしいと思っています。そういう思いの積み重なりが、その子らしさ（自己肯定感・アイデンティティ・誇りなど）につながっていくのだと思います。

式典後に開催したスクールコンサートにも、たくさんの方に来ていただき、一緒に音楽を楽しみながら、お祝いをしていただきました。ご参加くださった方から「地域にも声をかけてもらって嬉しかった」というお声をいただきました。「高瀬小学校はやはり地域の学校なのだ」と再確認いたしました。



### 学校のあちこちから



●春先に植えた植物が続々と芽を出しています。1年生のアサガオ、2年生のトマト（トマトは苗で植えました）、3年生の紅花など。その植物に水をあげようと朝の玄関は子ども達でいっぱいになります。「今日は芽がたくさん出た」「昨日より大きくなっている!」「お水、たりるかな?」いろいろなつぶやきも聞こえてきます。いつも水道の下のコンクリートに水をこぼした跡が残っているのですが、この跡が日々小さくなっています。きっと、毎日水をあげることで、子ども達のじょうろやペットボトルからこぼれる水量が少なくなっているのだと思います。



こんなところにも子ども達の成長を感じます。植物と同じくらい子ども達もぐんぐん大きくなっています。

### 資源回収・PTA 作業

日差しの強い暑さの中で、たくさんの保護者の方・地域の方のご協力の下、無事に終了することができました。ありがとうございました。



資源回収では、それぞれの地区から集められてきた資源の量を見て、「混ぜればゴミ、分ければ資源」という言葉を思い出しました。学校の中でも意識していきたいと思います。PTA作業では、いのは山の山道や階段をきれいに補修していただき、安全に行き来できるようになりました。



サツマイモ畑もマルチを敷き、苗を整然と植えていただいたので、秋になるのがとても楽しみです。

たくさんのお手伝いをしていただいている姿も頼もしかったです。